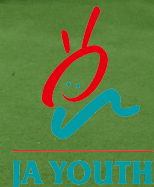




令和7年度 JA鶴岡青年部の1年間の活動を振り返ります



5月・7月 七窪思恩園食育事業



今年の七窪思恩園食育事業は、5月下旬に青年部が畑の準備を手伝い、子供達と一緒にトマトやナス、ピーマンといった夏野菜の苗を定植しました。

日々の水やりや世話を子供達が頑張っている、7月には収穫感謝祭を開催しました。今年は「ShowNine」さんとコラボし、夏祭りをイメージした内容とし、ヨーヨーすくい、飲み物の販売に加え、焼きそば、から揚げ、フライドポテト、ポップコーン、かき氷が並びました。また、メインの収穫野菜と青年部提供の野菜やトマトソースで作ったピザを子供たちと作り、交流を深めることが出来ました。

大山支部 荻原 優太

11月 支部交流スポーツ大会 (JA鶴岡だだちゃアリーナ)



6月 江戸川区小学校稲作特別授業



小学生の頃から実家の手伝いで、農作業はしていたものの、手伝い程度でしかしてこなかったため、1年を通して実際にどんなことをしているか、自分自身も学べる機会だと思い、今回この事業に参加しました。

生徒さん達からは、「どうしたらバケツ稲を失敗せずに作れるか」、「美味しいお米を作るには何が必要か」といった質問の他に、「なぜ急にお米が高くなったのか」、「どうして米不足なのか」、「JAが米を買占めているのではないか」など現状の日本の米事情について、多く質問を受けました。

今回特別授業に参加して、現在色々な要因で米が高騰していますが、子供達が美味しいご飯を満足に食べれて、明日も笑顔で元気に過ごせるよう、そういった気持で米作りを行っていきたいと思いました。

上郷支部 佐藤 祥樹



10月 つるおか大産業まつり2025

初日こそ天気が崩れましたが、おかげさまをもちまして2日目は絶好の秋晴れに恵まれ、会場は終始、活気に満ち溢れていました。私たちのブースでは、香ばしいソースの香りが食欲をそそる「焼きそば」、ジューシーな「フランクフルト」、そして肌寒い季節にぴったりの温かい「もつ鍋」を販売いたしました。

どのメニューも大変ご好評をいただき、行列が絶えないほどの大盛況となりました。「美味しかったよ!」という温かいお言葉を直接いただき、盟友一同、疲れも吹き飛ばすような喜びを感じております。

これからもJA鶴岡青年部は、食と農を通じて地域を盛り上げてまいります。今後とも変わらぬご支援をよろしくお願いいたします!

上郷支部 小松 紀之



1月 盟友研修会
ナマリーさん講演

12月 児童施設新米贈呈事業



大泉支部 野立て看板



今年度は湯野浜のひばり保育園に新米贈呈を行いました。各支部の盟友が生産し提供いただいたお米5種類、合計約170kgを贈呈し、少し早いクリスマスプレゼントに子供達もすごく喜んでいました。大人が30kgのお米を軽々持っているのを見て「俺も簡単に持てるよ!!」と実際にもってみると「おっ...おおい...」と笑い合い、園児たちと楽しい時間を過ごしました。

後日、園長先生から園児たちとお米の食べ比べをしますよと聞きました。食べ比べの日は、1人に5種類のおにぎりが渡され、1種類ずつおにぎりを頬張りー〇ー〇味わって食べたそうです。一番美味しかったお米はつや姫とのことでした。

これを機に食への興味や関心、大事さを伝えられたと思います。

西郷支部 小笠原 隆道



西郷支部 野立て看板

1月 東北・北海道地区JA青年大会

山形県青年組織協議会会長の阿部佑一です。

2024年度は副会長を、2025年度より会長をさせていただいております。山形県の青年農業振興を発展させるために意見や思いを県内青年部より集約し、それを政治・行政・消費者に伝える活動を各JA青年部代表者と共に行わせていただきました。今年1月には青年部北海道東北大会を山形県が主管し、初となる鶴岡開催をしました。山形開催では過去最大の360名の参加人数となり山形・鶴岡の多くの魅力を各地青年部盟友に発信しました。

西郷支部 阿部 佑一



北支部 野立て看板

青年部 委員長より



日頃より青年部活動へのご支援、誠にありがとうございます。私たち青年部は、農業の技術研修や仲間づくり、地域貢献活動を通じて、地域農業の発展に取り組んでいます。今年度もラブライス・キャンペーン（食育事業）を中心に事業を行い、事業に参画する盟友一人ひとりが成長し、前向きに挑戦できる活動を進めてまいりました。来年度もさらに魅力的な事業、理想的な組織を皆様と創っていきたくと考えております。今後ともご指導ご協力のほどよろしくお願いいたします。 JA鶴岡青年部 委員長 小笠原 隆道